

台北医学大学薬学部での短期研修プログラム

2026年8月30日～9月6日の約一週間、薬学部薬学科4、5年生6名が、台湾の台北医学大学（TMU）薬学部を訪問し、短期研修プログラムに参加しました。TMUとは、学術交流協定に基づき、双方向の交流を行っています。昨年度は、大学院生がTMUを訪問しましたが、薬学科生が訪問するのは、2019年8月以来、実に7年ぶりのことです。

内容ですが、英語での講義の受講、3つのTMU附属病院の訪問、研究室見学に加えて、同時期に開催された第11回日台6大学薬学ジョイントシンポジウムにも参加し、英語での講演を拝聴しました。最終日には、科達製薬（Koda Pharmaceutical Co. Ltd.）を訪問し、漢方薬の製造工場や研究ラボ・設備の見学、また漢方薬局の未来形（ICTやAIの利活用）を見ることができました。学生同士の交流も積極的に行っていました。

TMU薬学部は研究が活発で、特にprecision medicineに関する研究が進んでいると感じました。研究に力を入れているのは、日本の大学との共通点かと思います。

本プログラムは、台湾のUAAT International Student Group Visit Programおよび長崎大学薬学部125周年記念事業寄附金の支援を受けました。厚く御礼申し上げます。

